# 短歌

## 弥彦山

立花純子（荻島2）

能登島に妹ありと聞く弥彦山に並びて眠る低き角田山は

踏み分けて入りたる森に稚児百合の俯き咲くを屈みて覗く

この年は勇者D51が走り行く来年は走れ貴婦人C57

連休の大安の今日人混みて昼餉取れぬと神主嘆く

崖の下脆き岩なる海礁を波の打つたび石の音立つ

# 川柳

私の川柳との出合いは怒りからの出発だったと思います。やり場のない怒りを五七五に詰め込んで新聞に投句して活字になった時あっこんな怒り方もあるのかと不思議な気持ちになったものでした。

## 万歩計

梅沢きく恵（田家2）

主婦の座でゆっくり回る万歩計

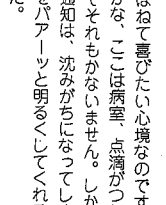
帰省子に私の川柳とのうれしく刻む万歩計

スーパーをはしごしてみる万歩計

万歩計大人の恋につきあたる

ライバルの秘密知ってる万歩計

# 俳句



この文芸の道にのめりこんだ私は、最初の頃は心象句が多くそれが或るきっかけが元で、写生即ち花鳥風詠の基本を学びました。簡単だと思っていた十七文字が又、月や花を詠む事がこんなにも難しいとは思ってもみませんでした。

## 輪島手盆

高橋あい（美幸町1）

陸よりも海の昏さに花の雨

花びらの汗ばんでゐる蓮の湖

茄子漬の紺青天の父母遠し

ゆく夏の輪島手盆を丸洗ひ

曖昧のままに暮れたる原爆忌

お買物、ご用命は市内で

♥人と人との交流基地♥
総合スペース カルチャーくらぶ
TEL0250(22)3102
FAX0250(24)1083
P完備
♥12月無料レッスン♥

| 気功 | フラメンコ 夜クラス | 英仏会話 | Mr.ハッピーの"アートで英会話" |
|---|---|---|---|
| "気"は心身全体のエネルギーを高め、脳の潜在能力を活性化させます。美容と健康にムリなくできる特殊な動作と呼吸法をマスターしてみませんか。<br>◇とき 12/12・19(土)20:10～21:10<br>◇動きやすい服装で | 待望のフラメンコ 夜クラスがいよいよ開講！ アフター5は情熱のステップで新しい自分を発見をしてみませんか。<br>◇とき 12/17(水)18:50～19:50<br>◇フレアースカート、ぴょうなしのヒール靴、タオル（ストレッチ用）持参<br>※11月熊村レッスンの昼コースは12/14(月)15:00～16:00に変更です。夜ムリな方はどーぞ。 | ＊すべてネイティブスピーカー（リオネル先生、ハッピー先生ほか）<br>＊個人レッスン、ペアレッスンも好評（月1回からOK）<br>◇英会話(市民) 12/15・22(火)13:30～14:30<br>◇英会話(市民) 12/11・19(金)20:00～21:30<br>◇英会話(中級) 12/12・19(土)15:00～16:00<br>◇英会話(こども) 12/12・19(土)16:00～17:00<br>◇仏会話(初級) 12/12・19(土)18:00～19:00<br>◇仏会話(中級) 12/12・19(土)17:00～18:00 | アート大好き、チビッ子だいすきのハッピー先生と描いて切って貼ってのアートタイム＋英会話。月2回のフルフルコースでお母さんも一緒に<br>Let's English! 気軽にのぞいてみて！<br>◇とき 12/9・23(水)16:00～17:30<br>◇持ち物 クレヨン、スケッチbook<br>ハサミ、ノリ |

本町教室 イトウ化粧店 駅前教室 三井化石堂 新津駅 月曜



# 小説

私も五〇歳にしてこのような賞を頂くことができ大変うれしく思っています。ある人は「なんだそんなもの」と言うかもしれません。でも私にとってはこれからの人生に大きな励みを与えてくれる機会ともなりました。

## ハリエンジュ

木津　久（北上1）

「いらっしゃいませー」

そのスーパーマーケットが開店した。一日で一番忙しい瞬間である。店員と客との勝負が始まる。洋介は来店客の一人ひとりに「いらっしゃいませ」と声をかけながら店内の売場をまわった。食品売場で目当ての品々を物色している中年のおばさんたちにも、すれ違うたびに声をかけた。どの客も、洋介の明るい声に一瞬驚いたように足を止めて「私は買物をしているのよ」という風な態度で洋介をにらむようにして再び陳列棚の方に向き直った。洋介が一人ひとりに声をかけるのは、自分に気合いを入れるためと、もうひとつの理由は、客の万引きを牽制するためであった。

洋介がこの店に入社したのは二年前のことだった。短大卒の洋介は同期入社の大卒連中とはどこか違っていた。洋介は学生時代にアルバイトで多少のつらいことも経験してきたし、子どもの頃にはいい気になって、遊び仲間からひどい目に遭わされたこともあったりで、それからは周囲とのトラブルには敏感になっていた。だから仕事面においてもあまり積極的ではなかったが、いつしか、それではだめだと思いながら、徐々に自己改善をめざしていた。お客へのかけ声はその表われでもあった。

ある日の昼近くのことだった。洋介がいつものように明るい声で店内を回っていると、入口から一人の若い女性が入ってくるのが見えた。彼女は入口に近い果物売場をぶらっと見渡してから、つき当たりの鮮魚売場に近づいた。そこで呼び込みをしていた関口ばあさんが、しゃがれた声で「いらっしゃーい、いわしのいいのが入ったよーっ」と彼女に声をかけた。何気なくその売場に近づいただけの彼女は驚いた様子で、顔をあげて関口ばあさんの顔を見上げ、少し照れ笑いをしながらその場を離れて行った。中ほどには食品や菓子の陳列棚が並んでいたが、彼女はそこには回らずに、店内を一巡するようにして最後都の雑貨売場へと進んだ。洋介はちょうど品切れしていた台所用洗剤を補充しているところだった。その洋介の脇をいったん通り過ぎて行った彼女は、再び何か思い出したように洋介のところに戻ってきて、そして小声でたずねた。

「あのー、化粧石鹸はどこですか」

突然声をかけられた洋介は「はいっ」と答えながらうしろを振り向いて「あっ」と声をあげそうになった。彼女はけげんそうなかおをして洋介の返事を待っていた。

「はっ、はい。こちらです」

洋介は次のコーナーへ彼女を案内しながら、化粧品や石鹸の並んだ棚を手で指し示した。

彼女は「あ、どうも」というような低い声を返して品物をいくつか手にとってみていた。洋介はまた自分の位置に戻って、さっきの仕事を続けながら、何かを思い出そうとしていた。

たしか三日くらい前のことだった。洋介が閉店の準備をしていると、あわてて店に飛び込んできたのが彼女だった。彼女は一直線に鮮魚売場にかけ寄って、二本入りのサンマをひとパック買物かごに放り込んでレジへ走った。その時、彼女が肩にかけていたバッグに銀の十字架のアクセサリーがキラッと光った。「クリスチャンでもあるまいし――」と洋介は思いながら、店の外に出て閉店のためのシャッターの準備にとりかかった。その洋介の目の前を、彼女は振り返るようにして夕闇の中へ消えて行った。

洋介は短大に通っていた頃、片想いの女性がいた。クラスメートだったが、一度も話したことがなかった。そんな彼女のために、休憩室のテーブルの上に、近くの公園に咲いていたハリエンジュの白い花房を小瓶に飾ったことがあった。そのほかに甘い香りが、この夕闇に消えて行った彼女のうしろ姿から漂ってくるように洋介は感じた。

次の日、非番だった洋介は、陽が高く昇った頃に目覚めた。窓を開けると、一面に広がった水田の穂並みを渡ってくる風がやわらかく入ってきた。これといった趣味もない洋介は近くの土手へぶらりと出掛けた。

（以下、略）

お買物、ご用命は市内で

品質保証付
新畳16,000円
表替 9,000円
（各税別）
●当方が自信を持っておすすめする品物です
新津畳協同組合
☎22－7923

寝具のサービス 何でもOK！
ふとん仕立て直し。ふとん丸洗い。
古ふとん有料処分。お客様用貸布団。
詳しくはお電話でどうぞ…
フリーダイヤル 0120－2808－39
毎週 水曜日 定休
(株) ふとんの新保
新津市 本町2－10－27